

平成21年度 千葉大学 新入生に対する「人文・社会科学系、自然科学系のアンケート（高校時の履修科目アンケート）」の結果の概要について

普遍教育センター

今年度も「人文・社会科学系、自然科学系の科目に関するアンケート」（新入生が高校でどのような科目を履修してきたか等）の調査を行いました。お陰様を持ちまして約91%もの学生から回答を得ております。ご協力を頂きました先生方、事務職員の方々に感謝いたしております。さて、この集計が出来あがりましてので報告いたします。

本調査は、平成16年度から始まり、現在の形になったのは平成18年度からです。この間、高等学校の教育課程の改定もあり大学新入生の学力も大きく変化したものと思われまます。このようななかで大学の初年級の教養教育、基礎教育をどのように組み立てたら良いのか、模索する一つのデータとなるものと考えています。これらのデータが今後の千葉大学教育カリキュラムの作成に当たり参考になることを願っております。

【調査の趣旨】

新入生の高等学校在学時の履修科目等を把握することを通じて、入学後の修学指導の参考とするとともに、高等学校から大学教育への円滑な移行を進めるために必要な科目・カリキュラム等を検討するための資料とする。

【実施時期・方法】

各学部の新入生ガイダンス（平成21年4月初旬）で配布・回収

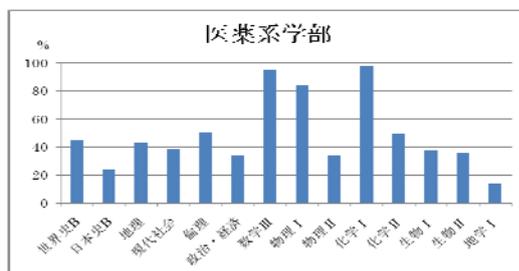
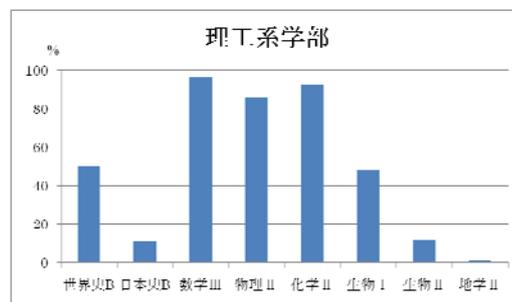
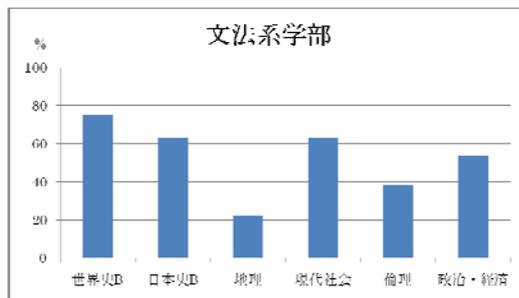
【回答数・回答率】

対象者数：2,429名

回答数：2,202名

回答率：90.7%

【調査結果の概要（部分）】



※ 掲載されているグラフは、部分的なものです。各学部・部局で千葉大学の教育改善にお役立ていただくことを目的に、学内限定ページに結果の詳細データを別に掲載しています。千葉大学学内の方はそちらもあわせてご参照ください。